


項番	ページ	章 標番	1 アクションプラン（案）を読んでものご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
1			目的を達成するための多岐にわたる網羅的なアクションプランとして、素晴らしいと思いました。アクションプランが実施され、一般の利用者もより自分事としてデジタルアーカイブを身近に感じ、利活用するような世の中になればと、心から願います。	ありがとうございます。
2			<p>「アクションプラン（案）」に対する感想ではないですが、下の図式について「情報資源・コンテンツの提供者（保有者）」的な役割を明示することが、デジタルコンテンツ拡充の観点からは重要になると感じました。DXの変革によりデジタルアーカイブがより活用されると、各種資源をもつ者が“是非自分のものも、公開・保存したい”という要求が高まると思います。そのニーズが、例えばアーカイブ機関への寄贈という形で実現するならば、アーカイブ機関としては、ジャパンサーチへの協力や連携をますます強化したいという動機づけにもなると感じています。</p> 	「はじめに」に追加しました
3			連携を通じて活性化に貢献できればと考えております。今後の発展を大いに期待します。	ありがとうございます。
4	1	I	運営側のみならず、連携機関や活用者、さらには拡げ役にまで広げたアクションプランとなっていることに感動を覚えました。我々もぜひデジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会的実現に貢献したいとあらためて思いました。	ありがとうございます。
5	1	I	・前文に「活用者を支え活用を推進する拡げ役」の重要性に指摘されている点が良いと思いました。一方で、本文（具体的なプラン）の中にはそこへの言及はあまりみられなかったように感じました。	拡げ役を含む■のアクションは今回改めて確認して、追加しました。また、今後、プレイヤーごとのアクションを分かりやすく提示してPRに努めたいと思います。
6	1	III	<p>将来向けに、少し書き方を考えておく方が良いかなという点を一つだけ書きます。</p> <p>IIIの「◇記録記憶の。。。」の箇条書きの第2項目で「リアル空間の」という表現についてです。</p> <p>「リアル」が物理的な物体の世界や物理的に同じ場所での会議といったことを示していることは理解できますし、「仮想（Virtual）」に対して「リアル」という表現が用いられることも十分に理解しております。その上で、私たちの現実の生活空間をRealWorldととらえると、このReal Worldのかなりの部分がVirtualなものに支えられており、Physical（「リアル」）の境目はますます曖昧になってきていると思います。</p> <p>この点からは、この文書では「リアル」ということばを、Physicalの意味ではなく、PhysicalとVirtualを包含するものとしてとらえ、新しい「リアル」の中でのアーカイブを考えていくことと最初に書いてしまうのも一手であろうと思いました。</p> <p>以前申した「いつまでも90年代型のデジタルアーカイブでもないでしょう」ということと根っこは同じです。Digital Dataを蓄積、保存して、そこから人が見たり、聞いたり、触ったりするものを提供してくれるものがデジタルアーカイブであると考え、人間が見たり聞いたりするのはReal Worldで、そこでは3Dプリンタで作った物体もあれば、VRで見るイメージもあるよという感じです。</p> <p>新しい「リアル」な世界を作り出していくのがDXという位置付けですね。</p> <p>デジタルアーカイブが特別なものではない世界を目指すというのと同じであろうと思います。</p> <p>いただいたアクションプランに関して、このように修正すると良いですよ、と言うほど明確に書けない点、ご容赦ください。</p> <p>ただ、Real Worldを「リアル」と「バーチャル」に分けることが古く感じられることもあるかなと気に留めておく方が良いなと思います。これは、コロナによる社会環境の変化とも関係していると思います。</p>	お考えを踏まえてⅢ章を座長に執筆いただきました。

項番	ページ	章	標番	1 アクションプラン（案）を読んでものご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
7	3	V		・【全般】ミッション／3つの柱／4つのアクションが頭に入っていないと、読み進めていくうちに何か繰り返しの様な感じを受けました。ただ、イラスト化や無理にポンチ絵を作るのが良いとも思えず、この点は感想のみで申し訳ありません。	関連する目標を各取組のところに追加しました。また、アクションプランのPRでは、図2・図3に沿った、各フェーズとプレイヤーで整理したアクション図も示していくことを考えています。
8	3	V		発展的課題について概観をつかむことができたが、ミッションを形づける、A.「アーカイブ機関と連携する」B.「コンテンツの発見可能性を高める」C.「活用しやすい基盤を提供する」のうち、Bには強化が必要であると感じている。また、閲覧者・アーカイブ機関・ジャパンサーチ運営の三者によるコミュニティ形成が必要であると感じた。	目標15を追加しました。
9		V		・地域の図書館は、その地域固有の文化資源の収集・保存・活用の拠点としてますます重要になると考えています。その後押しとなるような具体的なアクションプランもあれば、と思います。	▲が図書館の役割に当たります。
10	2	V		16の目標の相互関係性を整理して、5年間でどのような行程でどこから着手するかを明示する必要あるのではないのでしょうか。現状の16の目標はいろいろ書かれているものの、相互に関係し合いそうだったり、内容が似ているため、全体として散漫な印象です。少なくとも年度ごとに注力する部分を挙げていただいたり、具体的なサービスと紐づけて目標を掲げていただければ、連携機関としてもアクション・プランの構想に協力しやすいです。	各年度の実行計画を作成予定です。
11	2	V		・全体的に具体性に欠ける部分もまだ多いのではないかと感じました。	全体として出来る限り具体化を図りました。現時点で難しいものについては、今後、各年度の実行計画でお示しできるようにしたいと考えています。
12	2	V		・【章V】「アクションプレイヤー」には、特定の個人や団体など、情報資源をもつ対象者をプレイヤーのひとつとして定義する必要はないか？（プレイヤーとして定義することで、デジタルアーカイブへの資源提供という入口からの図式が描けるのではないか？）	▲：アーカイブ機関・つなぎ役（連携機関）に含まれています。
13	3	V		・p3とp.4の図は激しく文字化けしていて読めませんでした。	図を拡大しました。
14	3	V		プレイヤーの3分類をもっと細分することで担当者レベルの役割が明確になり責任をもった仕事ができるのではないか。（3/17意見交換会）	取組の中で、具体的な担当者レベルを明記するようにしました。
15	4	V		・p4.「その他の領域にを活用の場を」に誤字がございました。	修正しました。
16	4	V	1	・「1.日々の学びや遊びの場でデジタルコンテンツを使った体験を可能にします」>「現状」のところ（など）に、「ジャパンサーチを活用した教材研究や授業準備も行われている」などといった趣旨の文言を追記していただくと良いと思います。授業内の探究学習で児童生徒が使う場面とは別の素晴らしさがあるので。	ご指摘を踏まえ修正しました。
17	4	V	1	・「1.日々の学びや遊びの場でデジタルコンテンツを使った体験を可能にします」>「取組」>①は、もう少し具体的であった方が良いと感じました。「教育で活用を推進します>具体的には教育で活用を推進します」という構造になっていると思いました。	ご指摘を踏まえ修正しました。

項番	ページ	章	標番	1 アクションプラン（案）を読んだのご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
18	5	V	2	<p>C.「活用しやすい基盤を提供する」アクションには、ギャラリーやマイノート、テーマ別などの機能の提供と利用の拡大といった内容が該当する。これらの利用拡大にはユーザー(ファン)の増加と、使用に関するフィードバックを基にした機能の改善、さらには、ユーザーコミュニティの形成が必要なのではないかと思われる。</p> <p>コミュニティが形成されれば、アクティブユーザーの層とその需要とをジャパンサーチ運営・アーカイブ機関が把握する事が可能となり、現在のアクティブユーザーに対して最適化された情報提供を行う事ができる。</p> <p>例えば、マイノート、マイギャラリー等を使用した閲覧者や、授業などで使用した教師やイベント運営者などの寄与者に、使用感やメリットについて掲示板形式で述べてもらう事を想定した場合、閲覧者・寄与者、アーカイブ機関、ジャパンサーチ運営の三者に以下のメリットがあると考えられる。閲覧者、寄与者は、自ら作成したコンテンツや活用事例の周知が可能となる他、機能についての質問を行う事ができるほか、ユーザー同士のアイディアの交換や、互助的コミュニケーションによる連帯感を得ることができる。</p> <p>アーカイブ機関は、アクティブなユーザーの層を知ること、ギャラリー等ジャパンサーチを通じた情報発信を行う際の指標や、活用事例から新たなアイディアを得たり、掲載内容を改善したりできる。</p> <p>ジャパンサーチ運営は、ユーザーからのフィードバックを基に機能の改善を図る事ができる他、閲覧者による自発的な活用事例を蓄積する事で、ジャパンサーチと連携すると何がうれしいのかを、まだ連携を行っていないアーカイブ機関に対して具体的に示すことができる。</p> <p>コミュニティには、コンテンツの発見や自作のギャラリーの作成と拡散とを楽しむ「ゆるいつながり」をもったコミュニティとが必要ではないだろうか。</p>	目標15に要素を盛り込みました。
19	5	V	2	・つなぎ機関ではないデータベース連携機関も、ギャラリー機能やワークスペース機能を使えるようになれば、と思っております。	目標2で紹介しているマイギャラリーは、誰でも利用でき、また、共有機能もあります。
20	6	V	3	・「3.幅広い分野・地域の機関のコンテンツを繋ぎ、ひと繋ぎます」の項目では、もう少し多様な所属・属性の「ひと」を繋ぐことに言及した方が良かったと感じました。例えば学校教員や教育委員会などの教育関係者、企業や大学、NPOなど、連携機関・コンテンツホルダー以外の人々を繋ぐ方針が必要なのではないでしょうか。	目標15に追加しました。
21	6	V	3	公共図書館の職員の意識改革に取り組んでいただきたいです。本来的には図書館法の改正や司書カリキュラムの改定などに落としていただきたいのですが時間も掛かるでしょうから、まずは県立図書館と連携して、図書館や教育委員会の職員向けのフォーラムや学習プログラム（研修ビデオ）などを作っていただきたいです。	目標3②等で実行することを考えます。
22	6	V	3	プレイヤーや連携機関の役割・関心領域が分かりやすく表示されると、近い関心領域の者同士がつながりやすくなる。(3/17意見交換会)	目標15で目的別のコミュニティの形成を考えています。
23	6	V	3	実務者ともっと気軽につながれるとよい。(3/17意見交換会)	目標15等で実行することを考えています。
24	6	V	4	・「4.社会に生み出される大小様々なデジタルアーカイブを長く支えます」はタイトルに「大小」とあるのに、以下は「長く」のことしか議論していないようにとれました。もちろん「長く」へのアクションは重要ですが、私個人のレベルでも、「小」アーカイブを作りたいけど作れない、「小」アーカイブを維持できない、という悩み相談が多く寄せられており、非常に重要な論点ではないかと考えているのですが、いかがでしょうか。	ご指摘の内容は、目標9③⑥等で実行することを考えています。
25	6	V	4	・【章V-4】「長期的なアクセスを保証」には、プレイヤーとしては、活ユーザー＝利用者（提供者）も含まれるはず	■(活ユーザー)を追加しました。
26	7	V	5	【「伝える」全般について】構築・活用を伝えていくことは重要で、プランにもある優良事例の共有は有意義だと思います。それに関し、NDL本体がジャパンサーチをフル活用した「NDL電子展示会」を作る、実験的な「電子展示会」を作っていく予定はあるでしょうか？（なんとなく今の「電子展示会」はジャパンサーチ色が薄く、ちょっと勿体ないなと思っています。）	現在も既存のギャラリーにあります。今後も目標8の中で取り組んでいきます。

項番	ページ	章	標番	1 アクションプラン（案）を読んでものご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
27	7	V	5	・学術目的ということも含まれているので、デジタルコンテンツだけでなく研究データに関するメタデータ収集も視野に入れて良いかと思いました。	既に連携機関のデータベースの中には研究データを含んでいるものもあります。研究データの扱いを明示的にする必要がある場合は、11③の中で検討することになると考えます。
28	8	V	5	【5-②】連携フォーマットの普及につとめるとありますが、例えば普及の進むJPCOARスキーマでは、デジタルアーカイブ対応は不十分なところがあるように思っています。こういった様々なフォーマットに対して、普及だけでなく、ジャパンサーチ運営から働きかけることによって、改善にも取り組んでほしいと思っています。	現在、NIIの関係者がジャパンサーチとの連携を見据えてフォーマットを検討中と聞いています。
29	8	V	5	・「5. 多様なデジタルアーカイブを集約・整理し、現在、そして未来へ効果的に伝えます」>「取組」>③>「価値ある情報を付加して」は、具体的にはどのようなものを想定しているか一言でも追記した方がイメージしやすいのではないかと思います。（「教育メタデータなど」）	ご指摘を踏まえて修正しました。
30	8	V	6	・【章V-6】「デジタルアーカイブの活用方法」：活用方法のみならず、個人レベルでのアーカイブの必要性・重要性を伝える役割をジャパンサーチが担えると良いのではないかと。「伝える」の要素には「貯める・集める」（個人レベルから）という役割も含まれるのではないかと。	目標5①等の取組に含まれていると考えます。
31	8	V	6	・JPS利活用促進のための委員など、組織があると良いと思います。それがあれば、日常の普及促進を組織だてで進められるだけでなく、例えばDAを活用した学習コンクールの運営や審査などもできて国としての活用の輪が広がりやすいと考えています。	目標15②等の中で取り組むことを考えます。
32	8	V	6	・「6. 様々なコミュニティにデジタルアーカイブの活用方法を伝えます」>「現状」に関連して、これは追記してほしいということではなく情報共有・雑談ですが、現在「ビジネス」モデルの構築について自治体と連携したプロジェクトを進めてプロダクトの制作に取りかかっています。来年度には2つほどコンテンツをリリースする予定ですので、（うまくいくは未知数ですが）楽しみにお待ちしております。	楽しみにしています。
33	8	V	6	・ジャパンサーチの活用推進を専門とする組織の構築	目標10④と目標15で実行することを考えます。
34	8	V	6	現在は弊社からメタデータを提供するのみですが、今後は積極的にADEC上でジャパンサーチのコンテンツを活用したいと考えています。例えば弊社が各機関でデジタルアーカイブを構築する際、予めジャパンサーチに関連の資料を調べ、未所蔵資料を補って表示したり、自治体史のフルテキストデータを利用させていただく等（自治体側への二次利用の促進も併せて）連携できたら相乗効果が生まれると期待しています。ますますのご指導・ご協力をいただくと大変ありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。	活用事例の共有として情報提供をお待ちしています。
35	8	V	6	ジャパンサーチのURLが学術論文での引用・参照先として使ってもらえるようになれば、より直接的に資料へのアクセスが促進するのではないかと。（3/17意見交換会）	目標13⑤を追加しました。出典明記するよう活用のリテラシーの向上に取り組めます。
36	8	V	6	Wikipedianとの交流・協力事業を深めることで、情報インフラの質を高めることができるのではないかと。（3/17意見交換会）	目標15等で実行することを考えます。
37	9	V	7	・「7. アーカイブ機関のデジタルアーカイブ構築・連携に必要な情報を共有します」のセクションでは、直接的な名称は出さないにしても、デジタルアーキビスト講習など、デジタルアーカイブ界の各分野で活動されている先生方（吉見先生・井上先生・福島先生・中村先生など）の講義が聞けて、法制度から撮影方法・メタデータや目録作成まで学ぶことができる場があることにも言及して良いのではないかとと思いました。	目標3④⑤の取組の中で紹介される可能性があると考えます。
38	9	V	7	・デジタルアーカイブ構築を支援するための助成金の確保と公募	実務者検討委員会で議論していきたいと思っています。
39	9	V	7	・デジタルアーカイブをボトムアップ的に盛り上げるために、デジタルアーキビスト講習との連携も組み込んでいただくのはどうでしょうか。	特定の団体業務の紹介は難しいですが、目標3④⑤の中で紹介される可能性があると考えます。

項番	ページ	章	標番	1 アクションプラン（案）を読んだのご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
40	9	V	8	・「8. ギャラリー等でデジタルコンテンツの魅力を発信します」に関連しての質問ですが、JPSのRDFデータは、ギャラリー単位にも付与されていますか？外のコンテンツ（指導要領LODや教材アーカイブ）のRDFからギャラリー単位に接続することはできますか？これはメタデータトワイライトでも議論が盛りがっていましたが、今後重要な論点になると思います。	簡易WebAPIでは、ギャラリーのほか、データベースや組織一覧もご利用いただけます。
41	9	V	8	(2)ギャラリー作成やキュレーションを行う際、各提供機関は自分たちのコンテンツのことをよく知っているの、「XXというテーマでコンテンツを募集しています」というような呼びかけ→連携機関が反応 という仕組みがあると面白いかなと思いました。	8②で実行することを考えています。
42	10	V	9	デジタル化やオープン化を推進するだけでなく、その前提となる環境基盤の整備が必要ではないでしょうか。たとえば【目標番号9】では、デジタル化の以前に、現物資料の整理や収蔵環境の整備が進まなければ、デジタル情報の先にある現物へのアクセスが困難となり、「日本の文化的・学術的コンテンツ」の基盤が根本から揺らぐ可能性があります。	ご意見を踏まえ追加しました。
43	10	V	9	・「9. 各種資料のデジタル化を推進し、デジタル空間の知識基盤を充実させます」ために、国としてデジタルアーカイブの構築に特化した競争的公募型助成金を獲得してきていただき、少額でもいいので毎年実施していただくと盛り上がるし小中規模館の目標になって良いと思います。まずはこの助成にチャレンジしようと思えるものが少ないと思います。	実務者検討委員会で議論していきたいと思います。
44	10	V	9	(1)ある特定の組織あるいは特定分野の取りまとめ機関と集中して連携し、構築からギャラリー作成、広報等まで一環して運営側と一緒に作り上げていくモデルケースがあると参考になるかなと思いました。特定組織とだけ濃い連携をとるのが難しい場合は公募でそういった組織を募るのも良いかと思えます。各組織が育っていくのを待つだけでなく、少しでも成功ケースがあると他組織の参考になるかなと思いました。	16⑤に追記しました。
45	10	V	9	・ジャパンサーチの閲覧者、アーカイブ機関からのポジティブなフィードバックを掲載したページの作成。(授業で使ったら素晴らしかった、連携したらこんなに良いことがある、といった生の声を掲載する事で、連携と利用拡大に寄与できるのではないかな…	目標7②に追加しました。
46	11	V	10	・「10. デジタルアーカイブを活かせる人材を発掘し、ファンを増やします」については、インフルエンサーとのコラボも実施してみたいですね。	目標8とも関連した取組を考えます。
47	11	V	10	・アクションプランに書かれていることを実施していただけても大変かと思いますが、やはり運営側にしかできないことも多いと思うので（特にジャパンサーチそのもののプレゼンスを上げること、広報など）、様々な活動に期待しています。	ありがとうございます。
48	11	V	10	ジャパンサーチ自体の広報活動。あるいは、さらに上位DB（WorldCat等）との連携。	目標15に海外機関との連携を記載しました。
49	11	V	10	企業ファンサイトを作成している会社のウェブサイトにて、ユーザーをファンにするためのエッセンスが掲載されています。ぜひご覧ください。 https://www.fun-site.biz/	ありがとうございます。参考にします。
50	12	V	11	・二次利用条件に関する権利関係のカテゴリ分けにつきまして、もう少し幅広く取り扱っていただけませんか？たとえば、教育利用のみ二次利用可といった区分を作っただけですとデジタルデータの利活用が促進されると思っております。	「著作権あり－教育目的の利用可」があります。他に必要な区分がありましたら、お知らせください。
51	12	V	11	・「11. 日本の魅力、特に地域の特色のあるデジタルアーカイブ連携を拡充します」を本当に進めるためには、自治体、とりわけ図書館員の意識改革、今後の時代の仕事の変化について業務改革を浸透させるイベントを大規模に何度も粘り強く行う必要があるのではないのでしょうか。人気の本をいかにどのように買うかなどに注力しているところも多いので、地域の知の拠点としての役割の再確認を促す努力が必要だと痛感しています。	挑むのアクションの取組の中で、変革を起こせるとよいと考えています。
52	12	V	11	【11-⑥】海外との連携については、個々の機関では連携の実現が難しいケースもあるように思います。個々の機関としては、ジャパンサーチとさえ連携しておけば、ジャパンサーチと海外デジタルアーカイブが連携することで、海外連携が実現するという流れが望ましいように思います。	目標15で実行することを考えています。

項番	ページ	章	標番	1 アクションプラン（案）を読んだのご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
53	13	V	12	【12-②】海外と連携するには、英語のメタデータが不足していると実感していますが、それを充実させようにも、スキーマの定義が対応していなかったり、記述が正しいのか判断できなかったりと、苦勞が絶えません。ジャパンサーチ運営の取り組みで、問題が整理されていくと、少しずつ改善できるのではないかと思います。	目標12及び14で対応を考えていきます。
54	13	V	12	・「12. 見つけやすく利用条件が整備された使いやすいコンテンツを増やします」「13. 自由に利用できるオープンなデジタルコンテンツを最大化します」については思うところ・不満がありすぎてここでは書ききれませんが、むしろ悪化している事例も多いと感じています。ユーザからも、「よく分からないので使うのをやめた」「結局使えないかいと愕然とした」という声をよく聞いています。コンテンツホルダーレベルでは、文化資源を国民・市民のものではなく自館の所有物であると主張するところが非常に多く、JPSにおける表示フレームのフォーマットも適切ではないため、何層にも潜って調べなければならず、苦勞して問い合わせても結局使えないor非常に煩雑な書類での申請を求められる→使わないということが生じていて、心も時間も削られすぎて疲弊しています。	目標15の取組の中で相互理解を目指したいと考えています。
55	13	V	13	現在、目録のライセンスをCC BYとして運用しております。これをCC0として運用する場合のガイドラインをお示しいただけると助かります。たとえば、解説や説明などの項目をジャパンサーチ側で除外して表示いただけるのか？あるいは、弊社からお送りするデータから除外すべき項目の有無などにつきまして知りたいと考えております。	メタデータの権利表示の自由記述欄で解説などメタデータ項目名を指定してCC BYと記述ください。
56	13	V	13	デジタル化やオープン化を推進するだけでなく、その前提となる環境基盤の整備が必要ではないでしょうか。たとえば【目標番号13】では、著作権保護期間内の資料が多数なのであれば、オープン化を推進するだけでなく、どのような内容の規程を設置すれば利用がスムーズになるかを所蔵機関に周知するとともに、利用者にも資料利用に必要な手続きとその理由についての理解促進を試みるほうが長期的には利用が活性化すると思います。	目標7①のガイドラインの改訂の取組の中で対応を考えたいと思います。
57	13	V	13	「13.自由に利用できるオープンなデジタルコンテンツを最大化します」取組①②に関連して、二次利用という概念について社会全体が十分に理解しない限り、オープン化が進まない日々の許諾処理作業で切実に感じています。子どものころから当たり前のように（常識レベルの知識と）なるよう教育に組み入れるのが理想ですが、まずはセミナーやフォーラムの開催により浸透させていただきたいと思います。なおライセンス表示について、わが国ではPDへのクレジット表示の希望が強いので、これを表現できる（CCBYのような）ツールの開発を検討していただきたいです。	目標13⑤等で実行することを考えています。
58	14	V	14	・閲覧者がジャパンサーチを利用する際の敷居を下げるような仕組みづくり 例)検索者のニーズに応じた検索設定を行える検索ツールバー。ブラウザプラグインの開発など。研究目的のユーザーには検索語にのみ忠実に最適化された検索結果を示し、教育目的のユーザーには幅広い資料を発見させるように示す、など…(学習で使うパソコン等にインストールされていたら利用機会が増えるのではと妄想。	検索者のニーズに応じた検索設定は今でも可能ですので、分かりやすいマニュアルを今後提供していく予定です。
59	14	V	14	単独としてのコンテンツ紹介になりがちなデジタルアーカイブを、デジタルアーカイブの体験を塊として伝えていくことが必要（3/17意見交換会）	アクションプラン全体としてキュレーションなど日常活動の体験として取り組んでいきます。
60	15	V	15	・ジャパンサーチコミュニティの「場」と「機会」を提供すること。	目標15で取り組んでいくことを考えています。
61	15	V	15	・「15. 分野・地域を超えた新たなコミュニティネットワークを構築します」は内容も素晴らしく具体的で良いと思いましたが、「3. 幅広い分野・地域の機関のコンテンツを繋ぎ、ひとつも繋ぎます」の項目とどう切り分けているのかが掴めなかったです。	目標3はアーカイブ機関を対象とする一方、目標15はプレイヤーを限定しないネットワーク形成を想定しています。

項番	ページ	章	標番	1 アクションプラン（案）を読んだのご感想・ご意見をお聞かせください。	事務局
62	15	V	15	<ul style="list-style-type: none"> ・目的ごとのコミュニティづくり、非常に重要だと思います。 みなさん業務が忙しい中でフワッとしたイベントに自主的に参加し続けるのは難しい人も多いと思うので、ちゃんと職場や上司に報告もできて自身のキャリアにもつながるように、〇〇委員会に所属といった形をとるなど仕事としてコミュニティに参加しやすい配慮が必要だと思います。 	体制構築に関わる場所は、実務者検討委員会で議論していく予定です。
63	15	V	15	既存のエコシステムの中にデジタルアーカイブが関わるのかを考える必要がある。（3/17意見交換会）	実務者検討委員会で議論していきたいと思います。
64	15	V	15	ジャパンサーチの外にある様々なデータプラットフォーム（デジタルアーカイブとは異なる）との全体のエコシステムが分かるようになるとうい。（3/17意見交換会）	実務者検討委員会で議論していきたいと思います。
65	15	V	15	<ul style="list-style-type: none"> ・EuropeanaやDPLAとの連携計画を具体的に聞きたいです。 	目標15④で連携の検討を進めます。